

## 新たにキャンプフィールド、カフェなどを整備 民間活力を導入した鞍ヶ池公園のリニューアルについて

鞍ヶ池公園の豊かな自然と人気のある既存施設を生かしつつ、新たな魅力を創出するため、本市の公園では初めてとなる公募による民間活力を導入したリニューアルを行います。

新型コロナウイルスによる社会情勢において、アウトドアの需要は高いため、ワーケーション<sup>(注)</sup>などを含めた新しい生活様式に対応した公園整備を行います。

注：「ワーク」(労働)と「バケーション」(休暇)を組み合わせた造語。IT技術の進展により、時間や場所にとらわれず働く新たな就業、休暇スタイル。

- 工事期間 令和2年10月～令和3年3月(予定)  
※令和3年4月以降リニューアルオープン
- 整備区域 鞍ヶ池公園内事業エリア 約100ha
- 整備内容
  - ・キャンプフィールド  
(レストラン・ストア棟、宿泊用トレーラーハウス、ピクニックエリア、アウトドアオフィス・デイキャンプエリア)
  - ・カフェ(出店予定：スターバックスコーヒー)
  - ・サービスセンター(案内所)
- 整備費用 5.94億円(キャンプフィールド、サービスセンター)
- 事業者 「鞍ヶ池公園ミライプロジェクト共同企業体」※( )内は役割  
代表企業：大和リース株式会社(カフェ設計・運営、サービスセンター設計、全工事及び運営総括)  
構成企業：ホームックス株式会社(施設運営)、株式会社川合造園土木(植栽修景)、株式会社スノーピーク(キャンプフィールド運営)、株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング(キャンプフィールド企画等)、有限会社エルミオーレ(乗馬事業)
- 事業手法
  - ・キャンプフィールド：設計施工一括発注方式
  - ・カフェ、サービスセンター：P-PFI(公募設置管理制度)
  - ・公園全体(動物園を除く)：指定管理制度
- その他 キャンプフィールドの売買契約及び指定管理者の指定の承認については、9月市議会定例会における議決を経て決定

<参考> これまでの経緯

- ・令和元年12月 指定管理者等の公募
- ・令和2年7月 基本協定締結、設計着手以上